

令和7年度（2025年度）

# 審判員対象 コンプライアンス研修 アンケート結果報告

対象

 公認審判員

回答数

 157件

作成目的

 研修の効果検証と次年度改善への示唆

作成者

一般社団法人日本ボッチャ協会

## 研修目的

### ◎目的

スポーツ・インテグリティの確保と、審判員としての行動規範の理解・実践を促進する。競技の公平性と信頼性を維持するためのコンプライアンス遵守の重要性を再認識させる。

### 🔍分析の観点

参加者の理解度と満足度を定量的に評価するとともに、自由記述から具体的な改善ニーズや懸念事項を抽出し、次年度以降の研修プログラム改善に役立てる。

## 調査概要



調査方法

研修受講後のオンラインフォームによるアンケート調査



設問構成

研修全体評価各章の理解度意識変化自由記述



回答数・対象

157件（公認審判員）



実施期間

令和7年度内実施

 内容の理解しやすさ

高評価

「理解しやすかった」との回答が圧倒的多数。具体的な事例を用いた説明が効果的であったと推察される。

 時間配分の適切性

概ね良好 ※要改善

大半は適切と回答したが、一部で「1時間でも良い」「短縮できる」といった意見も見られた。

 目的・趣旨の明確性

極めて高い

研修の目的である「コンプライアンスの重要性」や「行動規範」は明確に参加者に伝わっている。

 オンライン形式の参加しやすさ

高評価

Zoomでの参加形式については肯定的な評価が多数。場所を選ばず参加できる利便性が支持されている。

 事前案内・接続方法

良好

案内や接続方法についても概ね分かりやすいとの評価。スムーズな運営がなされている。

 総合的な満足度

高評価

全体として非常に高い満足度を獲得。「有意義だった」「勉強になった」とのコメントが多数寄せられた。



## 💡 分析サマリー

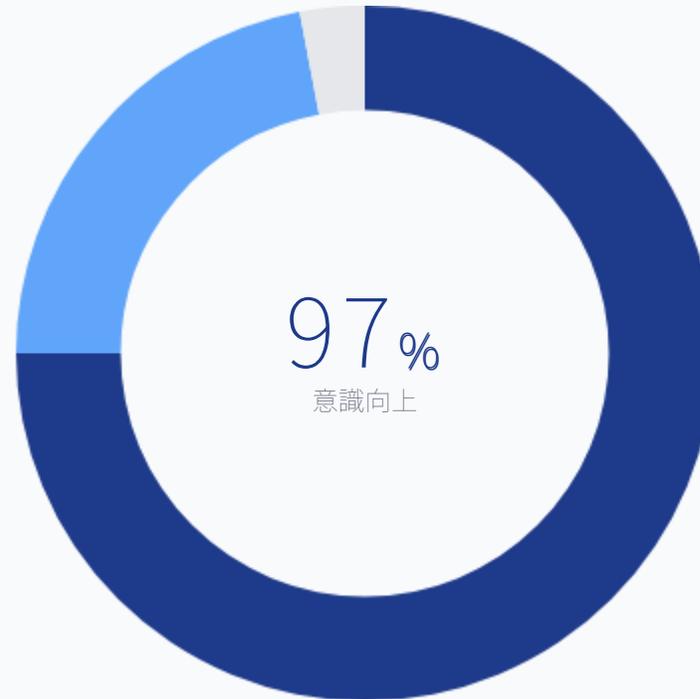
全セクションで極めて高い理解度を達成。特に「事例検討」が98%と最も高く、具体的なケーススタディが理解促進に大きく寄与していることが明確となった。一方、「内部通報制度」は89%と相対的に低く、制度の周知と利用手順のさらなる明確化が必要と推察される。

## 総評

受講者の97%以上が、今後の活動において「行動規範を意識する機会が増える」と回答（スコア5および4）。

研修内容が知識の習得にとどまらず、実際の行動変容への強い動機づけとなっていることが確認された。

「自分ごと」として捉える意識が定着



● スコア5 (大いに増える) ● スコア4 (増える) ● スコア3 (変わらない)

## 主な理由（自由回答より）

-  選手との距離感の再認識  
親しさゆえの馴れ合いや、誤解を招く接触を避ける必要性を強く認識。
-  公平性・高潔性の維持  
審判員としての振る舞いが協会全体の信頼に直結するという責任感の向上。
-  事例検討の効果  
具体的な事例を通じ、日常に潜むリスクへの感度が高まった。

## 意識向上度スコア



High

意識が高まった

総評：参加者の大半が「意識が高まった」と回答。特に「自分ごと」として捉えるきっかけになったとの声が多く、研修の効果が顕著に表れています。

### ↑ 主なドライバー（向上要因）

- 具体的事例の提示により、リスクが身近にあることを実感
- 審判員としての責任・高潔性の再認識
- 選手ファースト／公平・公正の徹底への意識付け

### ⚠ 懸念点・課題

- 実際の場面でとっさに気づけるか、対応できるか不安
- 知識としての理解と、行動としての実践のギャップ

### ✓ 対応提案

#### 🔄 実践力強化へのアプローチ

- シナリオを用いた演習（ロールプレイング）の導入
- 自己点検チェックリストの配布と定期的な確認
- 相談・通報窓口のアクセシビリティ向上と再周知

# 自由回答にみる主要テーマ（8項目）



自由記述回答（スコア5回答中心）から抽出された主要な8つのテーマと言及数



分析インサイト：「意識の向上」「信頼性」への言及が突出しており、研修がマインドセット変革に寄与していることが伺える。  
また、「事例の有効性」への高評価は、抽象的な規範よりも具体的なケーススタディが行動変容を促す鍵であることを示唆している。

# 今後の方向性

## 📄 主要な改善ニーズ（自由回答より）

📄 資料整備： 研修資料の配布要望（複数）、FAQ整備

👥 実践形式： グループワーク・ロールプレイ導入

👤 選手対応： 距離感・接触ルール・SNS事例の具体化

⚖️ ハラスメント： 線引き基準と対応方法の明確化

🚦 違反時対応： 処分基準と対応フローの可視化

📖 事例拡充： 最新事例の継続的な更新と共有

## 📈 次年度KPI（目標）

受講率	100%維持
通報制度認知率	95%以上
重大事案件数	0件
研修満足度	4.5以上

## 📅 次年度アクションプラン（案）

